

経営戦略の29年度取組実績について

○水道事業

1 数値目標

項 目		3年間(28年度～30年度)での目標	29年度実績	進捗状況等	
経営指標等	経常収支比率	毎年度100%以上	109.25%	目標達成	
	給水原価	毎年度69円/㎡以下	62.40円/㎡	目標達成	
安定供給の確保	地震防災対策	広域調整池の整備(H28～37 5池整備)	20%	20%	37年度までの目標5池に対し、1池を整備した。(計画どおり)
		連絡管等の整備(H28～37 3路線整備)	0%	0%	37年度までの目標3路線に対し、3路線を整備中。(計画どおり)
		浄水場等の構造物の整備(H28～37 9浄水場整備)	0%	0%	37年度までの目標9浄水場に対し、5浄水場を整備中。(計画どおり)
	老朽化設備更新の進捗率(H28～30 15設備整備)	100%	53%	30年度までの目標15設備に対し、8設備を整備した。(概ね計画どおり)	
	老朽化管路更新の進捗率(H28～33 44km整備)	12%	9%	33年度までの目標44kmに対し、4.1kmを整備した。(概ね計画どおり)	
安全で良質な水の供給	水質指標(残留塩素)	毎年度1.5倍以下	1.4倍	目標達成	
	水質指標(PI)(特定4項目)	毎年度4項目達成	3項目達成	目標4項目に対し、3項目目標値を達成した。	

2 経営指標

項 目		29年度実績	項 目	29年度実績	
経営の健全性	経常収支比率【単年度損益】	109.25%	経営の効率性	施設利用率【施設の効率性】	65.36%
	累積欠損金比率【累積損失】	—		有収率【供給した配水量の効率性】	99.66%
	流動比率【キャッシュフロー】	103.25%	老朽化の状況	有形固定資産減価償却率【施設全体の減価償却の状況】	60.27%
	企業債残高対給水収益比率【債務残高】	232.25%		管路経年化率【管路の経年化の状況】	46.19%
経営の効率性	料金回収率【料金水準の適切性】	109.15%	管路更新率【管路の更新投資の実施状況】	0.24%	
	給水原価【費用の効率性】	62.40円/㎡			

3 29年度の主な取組実績及び今後の取組

【主な取組実績】

- ・地震対策(広域調整池、連絡管、基幹管路等)の実施
- ・老朽化施設更新(浄水場設備、管路)の実施
- ・安全で良質な水の供給
- ・PFI事業の着実な実施
- ・水道技術職員の人材育成
- ・環境に配慮した事業の実施

【今後の取組】

- ・地震対策(広域調整池、連絡管、基幹管路等)の実施
- ・老朽化施設更新(浄水場設備、管路)の実施
- ・安全で良質な水の供給
- ・PFI事業の着実な実施
- ・水道技術職員の人材育成
- ・環境に配慮した事業の実施

○工業用水道事業

1 数値目標

項 目		3年間(28年度～30年度)での目標	29年度実績	進捗状況等	
経営指標等	経常収支比率	毎年度100%以上	118.28%	目標達成	
	給水原価	毎年度28円/㎡以下	24.86円/㎡	目標達成	
安定供給の確保	地震防災対策	愛知用水(H28～36 8橋整備)	50%	38%	36年度までの目標8橋に対し、3橋を整備した。(計画どおり)
		西三河(H28～37 12橋整備)	67%	67%	37年度までの目標12橋に対し、8橋を整備した。(計画どおり)
		東三河(H28～29 5橋整備)	100%	100%	29年度までの目標5橋に対し、5橋を整備した。(目標達成)
		尾張(H28～34 10橋整備)	80%	80%	34年度までの目標10橋に対し、8橋を整備した。(計画どおり)
	老朽化施設更新	愛知用水(H28～31 4施設整備)	50%	50%	31年度までの目標4施設に対し、2施設を整備した。(計画どおり)
		西三河(H28～34 7路線整備)	43%	0%	34年度までの目標7路線に対し、5路線を整備中。(概ね計画どおり)
		東三河(H28～29 2施設整備)	100%	100%	29年度までの目標2施設に対し、2施設を整備した。(目標達成)
		尾張(H28～29 10施設整備)	100%	80%	29年度までの目標10施設に対し、8施設を整備した。(H30完了見込)
	老朽管路更新	愛知用水(H28～37 8路線整備)	0%	0%	37年度までの目標8路線に対し、1路線を整備中。(計画どおり)
		西三河(H36以降整備予定)			
		東三河(H31以降整備予定)			
		尾張(H36以降整備予定)			

2 経営指標

項 目		29 年度 実績	項 目		29 年度 実績
経営 の健 全性	経常収支比率 【単年度損益】	118.28%	経営 の効 率性	施設利用率 【施設の効率性】	56.80%
	累積欠損金比率 【累積損失】	—		有収率 【供給した配水量の効率性】	98.62%
	流動比率 【キャッシュフロー】	131.92%	老朽 化の 状況	有形固定資産減価償却率 【施設全体の減価償却の状況】	66.39%
	企業債残高対給水収益比率 【債務残高】	266.79%		管路経年化率 【管路の経年化の状況】	23.20%
経営 の効 率性	料金回収率 【料金水準の適切性】	116.93%	管路更新率 【管路の更新投資の実施状況】	0.00%	
	給水原価 【費用の効率性】	24.86 円/m ³			

3 29 年度の主な取組実績及び今後の取組

【主な取組実績】

- ・地震対策（水管橋）の実施
- ・老朽化施設更新（浄水場設備、管路）の実施
- ・西三河工業用水道事業の需要対応の検討
- ・P F I 事業の着実な実施
- ・水道技術職員の人材育成
- ・環境に配慮した事業の実施

【今後の取組】

- ・地震対策（水管橋）の実施
- ・老朽化施設更新（浄水場設備、管路）の実施
- ・P F I 事業の着実な実施
- ・水道技術職員の人材育成
- ・環境に配慮した事業の実施

○用地造成事業

1 数値目標の実績

項 目		10 年間（28 年度～37 年度） での目標		29 年度までの 実績 ※経営指標は 29 年度実績	進捗状況等
経営 指標	経常収支 比率	毎年度 100%以上		105.12%	目標達成
分譲、 リー ス面 積	内陸用地	28 年度～32 年度	33 年度～37 年度	173.4 h a	豊田・岡崎地区始め 3 地区におい て用地を分譲（概ね計画どおり）
		700 h a	100 h a		
	臨海用地	28 年度～32 年度	33 年度～37 年度	14.4 h a	御津 2 区始め 5 地区において用地 を分譲・リース（概ね計画どおり）
		30 h a	30 h a		
造成 完了 面積	内陸地区	28 年度～32 年度	33 年度～37 年度	175.9 h a	豊田・岡崎地区始め 2 地区におい て用地の造成を完了（概ね計画ど おり）
		750 h a	160 h a		
	臨海地区	28 年度～32 年度	33 年度～37 年度	3.5 h a	御津 1 区において用地の造成を完 了（概ね計画どおり）
		60 h a	40 h a		

2 経営指標

項 目		29 年度 実績
経営 の健 全性	経常収支比率 【単年度損益】	105.12%
	流動比率 【キャッシュフロー】	211.42%

3 29 年度の主な取組実績及び今後の取組

【主な取組実績】

- ・安城榎前地区、豊橋三弥地区及び刈谷依佐美地区の開発決定
- ・愛西佐織地区及び高浜豊田地区の分譲を開始
- ・高浜豊田地区において、売買契約を締結し、完売
- ・豊田・岡崎地区において、中工区の引渡し完了
- ・愛西佐織地区の造成工事が完了

【今後の取組】

- ・中部臨空都市において、商業施設や国際展示場関連施設の誘致活動や、イオンモール(株)との相乗効果が期待できる周辺区画への誘致活動の実施
- ・次世代産業関連企業、航空宇宙産業を中心とした企業訪問の実施
- ・企業ニーズを把握し、採算性の精度を高めた新規開発の実施
- ・事業量に応じた適正な組織体制の構築